

長寿命化計画の対象橋梁 1285 残る橋梁の修復予算確保を

決算特別委(2部)6日 さとう議員

10月6日の市議会決算特別委員会で、さとう綾議員は、橋梁の長寿命化計画について質問。長寿命化計画の対象橋梁1285、

100年または100年以上の供用年数を目標とする橋梁が571あるうち補修(22年度完了予定含む)が65橋梁にとどまっていると指摘。21年度予算の要求額よりも査定が大きく後退していることあげ、「市としての財政措置」「国の補助増額を要望」を強く求めるとともに、補修と合わせて橋梁の耐震化の点検、耐震性能を把握するように求めました。



長寿命化計画対象橋梁	1285 橋梁
(うち修繕工事必要橋梁)	180 橋梁
(21年～22年度に完了及び予定)	65 橋梁
未修復橋梁	118 橋梁

耐震化対象橋梁	259 橋梁
(うち診断で補強対象のもの)	123 橋梁
(21年度までに耐震化完了予定)	104 橋梁
耐震補強計画の未補強	19 橋梁

山本公園、地域住民の声生かし納得いく整備を

同6日、村上議員

厚別区山本地区に整備中の山本公園は都市公園として2012年度から整備開始、25年度完了をめざしています。現在は7割程度まで事業が進み、完成した区域から市民に開放されています。市は「利用者が増えている」と説明。村上仁議員は、「市民に親しまれる公園とする整備が重要」「コロナ後も踏まえてどのような点に配慮して、残りの整備を進めていくのか」と確認し、市も、「安全に身心のリフレッシュを図れるよう配慮しながら進めていきたい」と答弁しました。同地区は、北海道新幹線の札幌延伸のトンネル工事からでる有害残土の処分場候補地。長年の建設残土や雪捨て場などの用地にされてきたこともあり、新たな有害残土の受け入れに町内会あけて反対運動が起きています。村上議員は、「人が集い、憩える施設ができるという、非常に明るい話題」、「山本地区の住民が十分理解して納得がいく整備を進めてほしい」と強く要望しました。



自己負担を仮定した市のアンケート、「検証」に値しない

昨年、「道路整備事業にいくらならお支払いできますか？」と回答を求める札幌市のアンケートが配布されていた問題

同6日 長屋議員

で、長屋いずみ議員は、「仮定で答えていただくアンケート」に疑念をのべ、効果検証に値しないと追及。アンケートには、「事業を、税金ではなく、各世帯からの負担金によって実施すると仮定してお答えください」と記述されていました。市民から、「負担をさらに増

やすのか」といった声が寄せられていることも紹介した長屋議員に、吉岡副市長は、「(回答を)強要する内容ではない」、「ご指摘の点も踏まえて、あり方をよくよく考えて実施してまいりたい」と答弁。長屋氏は、「この手法を用いた事業評価は課題がある。慎重な対応が必要」と厳しく指摘しました。

このニュースを地域民報への転載や各支部への配布など、積極的に活用してください。